

環境道民会議 ウィンターミーティング 2018

生物多様性保全フォーラム

～多様な主体の連携・協働に向けて～

平成30年

2月1日(木)

14:00～16:30

札幌国際ビル 8階 国際ホール
札幌市中央区北4条西4丁目1番地

参加無料 定員120名
先着順・要事前申込み

私たちの生活に多くの恵みをもたらす生物多様性。今、北海道の生物多様性が危機に瀕しています。この広大な北海道の豊かな生物多様性を守るためには、行政、道民、環境保全団体、企業が協力して取り組む必要があります。多様な主体の連携・協働について考えます！

■基調講演

「生物多様性異変

～なぜ外来生物は増えるのか？ 如何に防除するか？」

五箇 公一氏 国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター
生態リスク評価・対策研究室 室長

■表彰式・受賞者活動発表

「未来へつなぐ! 北国のいきもの守りたい賞」

受賞者 株式会社 アレフ
尻別川の未来を考えるオビラメの会
UWクリーンレイク洞爺湖

■パネルディスカッション

「多様な主体の連携・協働に向けて」

パネリスト	北海道外来カエル対策ネットワーク	更科美帆氏
	株式会社 アレフ	高田あかね氏
	北海道生物多様性保全活動連携支援センター(HoBiCC)	内山 到氏
	国立環境研究所	五箇 公一氏



■講師プロフィール

五箇 公一氏

国立環境研究所で外来生物や化学物質による生態影響評価の研究プロジェクトリーダーを務める。環境省、農林水産省、厚生労働省、防衛省など中央政府の法律・政策・事業にかかる委員会委員を多数務めるとともに、テレビや新聞等マスコミを通じて生物多様性・生態リスクの啓蒙にも努める。

著書『クワガタムシが語る生物多様性』創美社(2010年)

『終わりなき侵略者との闘い～増え続ける外来生物～』小学館(2017年)など

未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞 受賞者紹介

株式会社アレフ

トノサマガエルは、本来北海道にいないカエルですが、人間活動による持ち込みと遺棄により1993年以降、道内各地で確認されるようになりました。恵庭市えこりん村にある体験田「ふゆみずたんぼ」において、主に夏休み期間に、国内外来種であるトノサマガエルの駆除イベント「トノサマガエルを捕まえろ！大作戦」を開催し、毎年約1000名近くの一般参加者へ、生物多様性の保全についてのレクチャーと外来種問題の普及啓発活動を続けています。



尻別川の未来を考えるオビラメの会

南限のイトウ(別名オビラメ)として知られる尻別川個体群を保全するために1996年から活動しています。2001年から、国際自然保護連合の指針に基づいて「再導入／補充」と呼ばれる手法による人工採卵／孵化で得た稚魚を再導入し、ダムによる通行阻害など、絶滅要因の除去を図ることで、2012年には世界で初めて再導入イトウの自然繁殖を確認しました。また2011年以降の自然繁殖地では、24時間体制の「見まもり隊」活動によって、7季連続で完全保護を達成しています。



UWクリーンレイク洞爺湖

洞爺湖に生息する特定外来生物のウチダザリガニの繁殖を抑制するため、行政や大学、民間団体と協力し捕獲及び調査を行っています。洞爺湖生物多様性保全協議会に参画し、ウチダザリガニの捕獲調査事業において中心的な役割を果たすと同時に、水中インターバルカメラや水中ドローン等を活用してウチダザリガニの生息域調査や生態調査を行うなど、洞爺湖の生態系保全に大きく貢献しています。



参加申込書

締め切り 1月26日(金)

お申し込みは、下記に必要事項を記入の上、1月26日(金)までに本票をFAXでお送りいただくか、同様の内容をEメールにより送信してください。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

お名前(フリガナ)	所属又はお住まいの市町村	電話番号
()		
()		

※ご記入いただいた個人情報は本事業の申込確認のみに使用させていただきます。

〈送付先〉 FAX. 011-232-1301 E-mail : kansei.kankyuu1@pref.hokkaido.lg.jp

【お問い合わせ先】 環境道民会議事務局(北海道環境生活部環境局環境政策課) Tel:011-204-5188